

認知症に関する活動計画（概要）

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区の地区別にメンバーを配置し、県内各市町や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防教室等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行う。また、「認知症の人と家族の会」との連携を図り、スタッフの派遣等を行う。

県士会員に向けては、アップデート研修を開催し、認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目指す。

認知症地域支援事業

一昨年度、「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン 体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センターへDVDを配布し、説明会を実施している。

次に、県士会員の所属する施設にもDVDの配布を行っている。今後は地域支援事業の一助としてDVDが活用できるように、県士会員に対し、指導者養成研修を実施し、地域で活躍できる作業療法士を養成していく。



認知症にやさしい地域づくり講演会

認知症地域支援事業の一環として、四国中央市では、地域包括支援センターと協同し、「認知症にやさしい地域づくり講演会」と題した、認知症啓発・予防事業を行っている。その中で、地域で使いやすい形で認知症予防体操を行うため、地域包括支援センターと認知症支援部門にて四国中央市版えひめカンカン体操のDVD作成を行った。地域住民には今後お披露目会を実施する予定である。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、各地区の積極的な活動は控えている。また、県士会員に向けて、認知症に対する理解の推進を図るためのアップデート研修を毎年行っているが、昨年度は中止した。今年度は、WEBでの開催が出来るように準備を行っている。

認知症サポーターキャラバンメイト

県士会における認知症地域支援部門の活動の一環として、メンバーは認知症サポーターキャラバンメイト養成講座の受講を予定している。作業療法士として専門的な知識を持ち、アウトプット出来ることは勿論のこと、行政と協働できる作業療法士を増やしていく。